

【資料-1 : 幾何に関する基準】

区分	内容	考え方
描画	フィーチャを正常に画面に表示、又は確認できること	図面に表現された形状を正確に受け渡す観点から、原則、制限は認められない。
保持	読み込んだ SXF ファイルの内容を変更せずに SXF 出力可能なこと。	異なるソフト間でのデータ交換の観点から、原則、制限は認められない。
作成	フィーチャを作成、編集、及び削除できること。	各ソフトウェアと適応分野での必要性を尊重し、やや緩やかな基準とする。(但し対応している場合は全て検定の対象となる。)

(凡例)

- : 対応が必須。(制限は認められない)
- △: 対応が必須。(記載の制限のみ認められる)
- ×: 対応は必須ではない。
- : 対象外

実装項目			適合性クラス CC1				
			機能区分			対応	
			描画	保持	作成	区分	認められる制限
図面情報	1	図面表題欄	-	○	-		
	図面構造	1	用紙	○	○	○	
2		レイヤ	○	○	○		
3		既定義線種	○	○	○		
4		ユーザ定義線種	○	○	○		
5		既定義色	○	○	○		
6		ユーザ定義色	○	○	△	作成	・RGB 値固定で、任意の色を指定できない。 (但し、特定色に偏っている場合は不可)
7		線幅	○	○	○		
8		文字フォント	△	○	○	描画	・プロポーショナルフォントも固定ピッチフォントと同様に等間隔に表示する。
幾何要素 / 表記要素	1	点マーカ	○	○	○		
	2	線分	○	○	○		
	3	折線	○	○	○		
	4	円	○	○	○		
	5	円弧	○	○	○		
	6	楕円	○	○	○		
	7	楕円弧	○	○	○		
	8	文字	○	○	△	作成	・横書きフォントを使つての縦書きができない。
	9	スプライン	○	○	△	作成	・滑らかでないスプラインの作成ができない。
構造化要素	1	複合図形(部分図)	○	○	○		
	2	(XY 異縮尺の部分図)	△	○	×	描画	・X 方向か Y 方向、一方の尺度で描画する。 ・文字を正しく描画できない。
	3	(測地座標系の部分図)	△	○	×	描画	・測地座標系を確認する機能がない。
	4	複合図形(作図部品)	△	○	×	描画	・XY 異縮尺の場合、文字を正しく描画できない。
	5	複合図形(作図グループ)	○	△	×	保持	・作図グループ配置のレイヤーは保持できない。
	6	直線寸法	○	○	△	作成	・作成できる形状の一部が固定。(文字配置基点/文字の下線長さ/矢印 1,2 の大きさ/補助線 1,2 の離れ) ・内向きの矢印は指定できない。
	7	角度寸法					
	8	半径寸法					
	9	直径寸法					
	10	引出し線	○	○	△	作成	・作成できる形状の一部が固定。(文字位置/文字配置基点/文字の下線長さ) ・2 点の場合、線上に文字を配置できない。 ・3 点以上の場合、最後の線と平行に文字が配置される。
	11	バルーン	○	○	×		
	12	ハッチング(既定義)	○	○	×		
	13	ハッチング(塗り)					
	14	ハッチング(ユーザ定義)					
	15	ハッチング(パターン)					
その他	1	ラスタデータ	△	○	×	描画	・画像の枠のみ表示する。
	2	等高線	○	○	×		
	3	背景色	○	○	○		